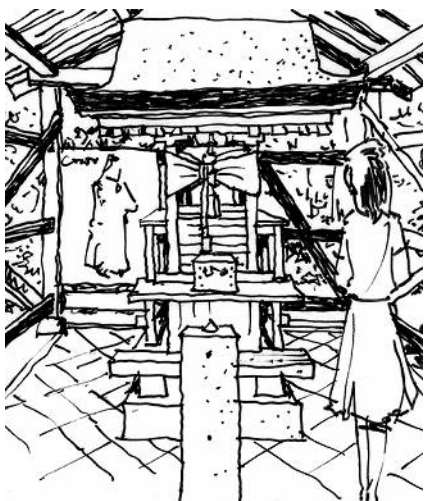


廣峯ものがたり（十月）
吉備真備と白幣山

「立身出世」

廣峯神社に祀られている二人の偉人をご存知でしょうか。その偉人とは、本殿裏にある天神社の神様、学問の神様として有名な菅原道真公。もうお一人は、本殿横の山道を十五分ほど奥に進んだ、白幣山の山頂にある吉備社の神様、吉備真備公です。道真公は平安時代、真備公は奈良時代と活躍した時代は異なりますが、家柄によって職業が決まる時代に、学者から大臣にまで大出世をしたのは、近世以前ではこの二人のみとされています。



さらに神主さんから、この吉備真備公は廣峯神社とたいへん縁が深い方だとお伺いしました。遣唐留学生であった真備公が、唐（中国）から帰国する途中、この地で神託を受けられ、そのことを聖武天皇に報告。天平六年（西暦734年）白幣山に社殿を創建したのが、廣峯神社のはじまりと伝えられています。平安時代（西暦972年）に社殿は現在地に遷され、その跡地に真備公の功績を称える吉備社が建立されました。毎年旧暦の十月二日に、受験合格を祈願する「吉備祭」が執り行われています。廣峯神社では、学業成就、立身出世の神様として崇められ、そのご利益を頂こうと、進学、就職試験を受験する学生たちが、合格祈願の絵馬を奉納しています。